

コ ー ス	歯周病学・歯周病学実習 (Periodontology Lecture & Lab class)		
学年・期・単位	第4学年・前期・3単位	科目担当責任者	出口 眞二 (口腔治療学講座 歯周病学分野・教授)
オフィスアワー	毎週木曜日16:30~17:30 (第2研究棟2階出口教授室)	メールアドレス	
一般目標 (GIO)	<p>成人の80%以上が歯周病に罹患しており、歯周病の原因と病態、症状と治療法を理解し、修得することは重要である。そのために、基礎科目で学習した歯周組織である歯肉、セメント質、歯根膜、歯槽骨の構造と機能および、歯周病の原因である関連細菌について復習し、理解する。これらの基礎的知識をもとに歯周病の診査法、検査法、診断、予防法と治療術式を理解し、歯科臨床各科との密接な関連について認識する。</p> <p>基礎実習では基礎科目と歯周病学の講義をもとに、学生相互の口腔内、顎模型、歯周外科器具セット等を使用し、臨床に直結した基本的操作方法をより具体的に把握する。また、ワークショップ形式により症例検討を行い、原因の抽出と治療計画の立案方法を習得する。</p>		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯周病学の概論	歯周治療の歴史と歯科治療における位置づけを理解し、歯周病学を学習する必要性を理解する。
2. 歯周組織の構造と機能	歯周組織である歯肉、セメント質、歯根膜、歯槽骨の正常な構造と機能を理解する。
3. 歯周病の原因	歯周病のリスクファクターと局所性因子と全身性因子を理解する。
4. 歯周病の成立	歯周病の発症機序、症候と病態を理解する。
5. 歯周病の疫学	歯周病の疫学的調査に用いられる指数を理解するとともに、疫学調査の必要性を認識する。
6. 歯周病の診査、検査、診断、治療計画	歯周病の診査法、歯周病の分類と特徴、さらに歯周病の診断と治療法を理解する。
7. 特殊な歯周病	特殊な歯周病の診断と治療法を理解する。
8. 歯周基本 (初期) 治療	応急処置、プラークコントロール、スクレーピング、ルートプレーニング、歯周ポケット搔爬、咬合回復処置、知覚過敏処置、生活習慣・悪習慣の改善について理解する。
9. 根分岐部病変	根分岐部病変の診査、治療方針、治療法を理解する。
10. 歯周一歯内疾患の治療	歯周一歯内疾患の診断、治療法を理解する。
11. 咬合治療	歯周病患者の咬合調整、歯科矯正、歯冠修復、歯冠補綴の治療法を理解する。
12. 歯周外科治療	歯周外科処置時の一般的注意事項、各歯周外科治療の適応、使用器具、術式を理解する。
13. 薬物療法	歯周治療に用いる薬物とその使用法を理解する。
14. メインテナンス・SPT	歯周病のメインテナンスとサポータティブペリオドンタルセラピーを理解する。

教科書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
A ザ・ペリオドントロジー	出口眞二他	永末書店

参考書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
標準歯周病学	出口眞二 他	医学書院
臨床歯周病学	吉江弘正 他 編集	クインテッセンス
カラーアトラスハンドブック歯周治療臨床ヒント集	出口眞二 他 編集	クインテッセンス

評価法 (EV)
講義の前期中間試験 (30%)、小テスト (10%)、前期本試験 (30%) と実習の成績 (筆記試験、製作物、欠席に対する減点) (30%) による総合評価。

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	歯周病学の概論	1. 歯周病について概説できる。 2. 歯科疾患における歯周病の特徴を説明できる。	A P22,23. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説する。	出口真二	F-3-2)-④ 必14-B-b
2	4/5	構造と機能の歯周組織	1. 歯と歯肉の付着様式を説明できる。 2. 遊離歯肉と付着歯肉、口腔粘膜、歯槽骨、歯根膜、セメント質の構造と機能を説明できる。 3. 歯周組織の模式図を描くことができる。	A P24~35. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-1)-⑤ 必6-C-d 総I-(I)-5-A~D
3	4/5	歯周病の原因	1. 歯周病のリスクファクターと全身疾患との関わりを概説できる。 2. 直接因子であるプラークを説明できる。 3. 局所性修飾因子であるブラーク増加因子を説明できる。 4. 外傷性咬合による咬合性外傷を説明できる。 5. 全身性修飾因子を列挙し、説明できる。	A P40~43, 66~85. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-2)-④ 各I-2-B 各III-(III)-2-B,D,F
4	4/5	歯周病の成立	1. ポケットの形成過程を説明できる。 2. 歯周組織の免疫応答を説明できる。	A P37,38,53~59. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-2)-④ 各II-(II)-5-A, J
5	4/12	歯周病の成立	1. 歯周病の臨床症状と症候を説明できる。 2. 歯肉炎と歯周炎の病理発生過程での鑑別を説明できる。	A P22~51. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-2)-④ 総V-3-I 総VI-11-B
6	4/12	歯周病の疫学	1. 歯周病の疫学的情報を説明できる。 2. 歯式の表現方法を説明できる。 3. 口腔の清掃状態を示す指数を説明できる。 4. 歯肉の炎症を表す指数を説明できる。 5. 歯周炎を表す指数を説明できる。 6. 歯周病の状態を表す指数を説明できる。	A P228~234. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-② 総II-10-H,I,K
7	4/12	歯周病の診察、治療計画	1. 歯周治療の進め方を概説できる。 2. 歯周検査・診察法を列挙できる。 3. 歯周病の分類と特徴を説明できる。	A P90~110. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-② 各III-(III)-2-A,C
8	4/19	歯周病の診察、検査	1. 歯周治療の基本原則を概説できる。 2. 治療計画の立案に必要な項目を列挙できる。	A P112~115. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-② 各III-(III)-4-A
9	4/19	特殊な歯周病	1. 急性ヘルペス性歯肉炎の病態と治療法を概説できる。 2. 急性壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎の病態と治療法を概説できる。 3. 葉物性歯肉増殖の病態と治療法を概説できる。 4. 歯肉線維腫症の病態と治療法を概説できる。 5. 慢性剥離性歯肉炎の病態と治療法を概説できる。 6. 白血病性歯肉炎・歯周炎の病態と治療法を概説できる。 7. Papillon-Lefevre 症候群の病態と治療法を概説できる。 8. 低フォスファターゼ症にみられる歯周炎の病態と治療法を概説できる。	A P236~254. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(2)-④ 必9-C-b,c 総VI-11-I 各III-2-H 各IV-1-O
10	4/19	歯周基本(初期)治療	1. 症例検討を通じ患者の初診時からメンテナンスまでの問題点を列挙できる。 2. 症例の治療法について説明できる。	画像を用いた症例報告の後、問題点や解決策を検討する。	菅谷 彰	F-3-3) 各III-(III)-2-A~H
11	4/26	歯周基本(初期)治療	1. スケーリングとルートプレーニングの定義を説明できる。 2. スケーリングとルートプレーニングの方法を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬の定義を説明できる。 4. 歯周ポケット搔爬の方法を説明できる。	A P130~139. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-d 各III-(III)-4-A
12	4/26	歯周基本(初期)治療	1. モチベーションを説明できる。 2. ブラークコントロールの定義を説明できる。 3. 機械的ブラークコントロールについて説明できる。 4. 化学的ブラークコントロールについて説明できる。	A P118~129. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-a,b,d 総X-1-B 総X-2-C,D,K 各I-2-D, F
13	5/10	歯周基本(初期)治療	1. 咬合機能回復処置について列挙できる。 2. 咬合調整を説明できる。 3. 暫間固定を説明できる。	A P140~141. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-③ 各III-(III)-4-A
14	5/10	歯周基本(初期)治療	1. 口腔内の歯周病の病状を診査できる。 2. ペリオチェック、ペリオトロン、位相差顕微鏡を操作方法を説明できる。 3. その結果を診断に応用し、治療計画の立案ができる。	B P104~106. 学生相互に口腔内診査を行い、所見についてまとめる。ペリオチェック、ペリオトロン、位相差顕微鏡を操作する直前にパワーポイントにより解説する。	辻上 弘	F-3-3)-(3)-② 総IX-3-F
15	5/17	根分岐部病変	1. 根分岐部病変の原因を説明できる。 2. 根分岐部病変の診査法を説明できる。 3. 根分岐部病変の分類と処置法を説明できる。	A P185~189. 講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口真二	F-3-3)-(3)-③ 各III-(III)-4-D

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	5/17	査、 診断、 治療 計画、 検査、 検	1. エックス線写真所見を具体的に記述できる。 2. 各診査結果をもとに、診断・治療計画を立案できる。	B P100。顎模型に類似したエックス線写真を読み取り、その所見をスケッチする。病態模型の診査結果をもとに診断する直前にパワーポイントにより解説する。	田胡和浩	F-3-3)-(3)-② 総IX -2-I,J
17	5/24	疾患の 治療 歯周― 歯内	1. 歯周―歯内病変の成立機序を説明できる。 2. 歯周―歯内病変の処置法を説明できる。	A P142～143。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-③ 各III -(III)-4-A
18	5/24	期) 歯 周基本 (初 治療	1. ブラッシング法の種類と特徴を説明できる。 2. 歯周組織の状態に適したブラッシング方法の説明ができる。	B P118～123。歯垢染色液を用い各種の方法でブラッシングし、その特徴を理解するとともに、ブラク細菌を位相差顕微鏡にて観察し、モチベーションについての重要性を考える。	田胡和浩	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-a,b 各I -2-E
19	5/31	咬合 治療	1. 咬合調整の基本原則と法則を説明できる。 2. 咬合調整の方法を説明できる。	A P190～193。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-③ 各III -(III)-4-E
20	5/31	期) 歯 周基本 (初 治療	1. スケーリングとルートプレーニングの方法を説明できる。 2. 歯周ポケット掻爬の手技を説明できる。	B P130～139。顎模型と歯周外科器具セットを使用し、スケーリング、ルートプレーニング、歯周ポケット掻爬の手技を行う直前にパワーポイントにより解説する。	辻上 弘	F-3-3)-(3)-③ 必3-J- d 各III -(III)-4-A
21	6/7	咬合 治療	1. 歯周矯正の理論を説明できる。 2. 歯周矯正の術式を説明できる。	A P196～198。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-③ 各II -(II)-5-E
22	6/7		1. 咬合調整について説明できる。 2. 暫間固定について説明できる。	B P140,141,190～193。診査所見をもとに、顎模型を使用し、咬合治療(咬合調整、暫間固定)を行う直前にパワーポイントにより解説する。	辻上 弘	F-3-3)-(3)-③ 各III -(III)-4-A,E
23	6/14		1. 永久固定の種類を説明できる。 2. 永久固定の術式を説明できる。	A P200～203。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-③ 各III -(III)-4-E
24	6/14		プロビジョナル固定について説明できる。	B P140～141。顎模型を使用し、プロビジョナル固定を行う直前にパワーポイントにより解説する。	辻上 弘	F-3-3)-(3)-④ 各III -(III)-4-E
25	6/21	歯 周外 科治 療	1. 歯周外科処置時の基本的事項である消毒について説明できる。 2. 麻酔について説明できる。 3. 縫合について説明できる。 4. パックについて説明できる。	A P148～155。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-④ 総X -5-B,D
26	6/21		1. 歯周基本治療後の再評価で歯周外科処置の適応を説明できる。 2. 歯肉剥離掻爬術について説明できる。 3. 歯肉切除術について説明できる。	B P148～155。顎模型と歯周外科器具セットを使用し、歯肉剥離掻爬術と歯肉切除術を行う直前にパワーポイントにより解説する。	辻上 弘	F-3-3)-(3)-④ 各III -(III)-4-B
27	6/28		1. ポケット掻爬術の適応、術式を説明できる。 2. 新附着術の適応、術式を説明できる。 3. 歯肉剥離掻爬術の適応、術式を説明できる。	A P148～155。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-④ 各III -(III)-4-B
28	7/5		1. 歯肉整形術の適応、術式を説明できる。 2. 歯肉切除術の適応、術式を説明できる。 3. 歯肉歯槽粘膜形成術の適応、術式を説明できる。 4. 歯槽骨外科手術の種類と術式を説明できる。 5. 歯周外科創傷の治癒過程を説明できる。	A P150～173。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-④ 各III -(III)-4-B
29	7/5		1. 歯周組織再生療法 (GTR, EMD) の理論を説明できる。 2. 歯周組織再生療法 (GTR, EMD) の適応、術式を説明できる。	A P174～184。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	F-3-3)-(3)-④ 各III -(III)-4-B
30	7/19	薬 物治 療法 メイ ンテ ナンス ・ SPT	1. 歯周治療における薬物治療法を説明できる。 2. 歯周治療における薬物治療法の使用薬剤を説明できる。 3. 歯周病のメンテナンスを概説できる。 4. リコール間隔を説明できる。 5. サポートペリオドンタルセラピー (SPT) について説明できる。	A P217～220, 204～215。講義内容のプリント配布、パワーポイントにより解説し、小テストを行う。	出口眞二	C-3-2)-① F-3-3)-(3)-②、③、⑤、⑥ 各III -(III)-4-F,G,H

実習ユニット	一般目標 (GIO)
1. 診査・診断・治療計画の立案	歯周病の診断に必要な診査法を実施し、治療計画を立案する能力を習得する。
2. 歯周基本 (初期) 治療	ファントームに装着した顎模型や学生相互による実習で、ブラッシング法、スケーリング、ルートプレーニング、暫間固定法、咬合調整の手技を身につける。
3. 歯周外科処置	ファントームに装着した顎模型やブタの顎骨による実習で、歯肉切除術、歯肉剥離搔爬術を実施する。
4. メンテナンス・SPT	メンテナンス・SPT 時の診査項目を理解し、歯周組織の健康維持の重要性を習得する。
5. PBL	ワークショップ形式で症例の検査結果を用い、ディスカッションを行い、治療計画の立案方法を習得する。
6. ふり返り総合学習	歯周病学の重要事項を判断する。

教科書 (実習)		
書名	著者名等	発行所
B 歯周病学基礎実習帳	出口真二 他	神奈川歯科大学歯周病学分野

参考書 (実習)		
書名	著者名等	発行所
カラーアトラス歯周病の臨床	長谷川紘二、岩山幸雄 編集	医歯薬出版
ラタイチャーク	原 耕二 監修	西村書店

評価法 (EV)
講義の前期中間試験 (30%)、小テスト (10%)、前期本試験 (30%) と実習の成績 (筆記試験、製作物、欠席に対する減点) (30%) による総合評価。

授業計画 (実習)							
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準	
1	4/12	診査・診断・治療計画の立案	1. 症例検討により患者の初診時の問題点を抽出することができる。 2. 症例検討により患者の治療法について討議できる。 3. 症例検討により患者の新たな治療計画の立案ができる。 4. 症例検討により患者の初診時からメンテナンスまでの治療法について批判することができる。	画像を用いた症例報告の後、問題点や解決策を検討する。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-②、④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-B	
2	4/19		出口真二 歯周病学分野 教室員全員		F-3-3)-(3)-② 各Ⅲ-(Ⅲ)-2-A～H		
3	4/26		1. 歯周病の症状について理解し、その形態的な特徴を把握できる。 2. 歯周外科器具の準備ができる。		B P1～22。歯周病の病態模型を用い、形態的特徴や主たる原因について、実習帳にまとめる。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-② 各Ⅲ-(Ⅲ)-2-A～H
4	4/26		出口真二 歯周病学分野 教室員全員		F-3-3)-(3)-① 各Ⅲ-(Ⅲ)-2-A～H		
5	5/10	1. 口腔内の歯周病の病状を診査できる。 2. ペリオチェック、ペリオトロン、位相差顕微鏡を操作できる。 3. その結果を診断に応用、治療計画の立案ができる。	B P151～154。学生相互に口腔内診査を行い、所見についてまとめる。ペリオチェック、ペリオトロン、位相差顕微鏡を操作する。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-② 総IX-3-F		
6	5/10			出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-② 総IX-3-F		
7	5/17			1. エックス線写真所見を具体的に記述できる。 2. 各診査結果をもとに、診断・治療計画を立案できる。	B P29～39。顎模型に類似したエックス線写真を読影し、その所見をスケッチする。病態模型の診査結果をもとに診断する。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-② 総IX-2-I,J
8	5/17	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-② 総IX-2-I,J				
9	5/24	歯周基本(初期)治療	1. ブラッシング法の種類と特徴を説明できる。 2. 各種ブラッシング方を体得できる。 3. 歯周組織の状態に適したブラッシング法の説明ができる。 4. 歯周組織の状態に適したブラッシング法の指導ができる。	B P46～69。歯垢染色液を用い各種の方法でブラッシングし、その特徴を理解するとともに、ブランク細菌を位相差顕微鏡にて観察し、モチベーションについての重要性を考える。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-a,b 各Ⅰ-2-E	
10	5/24				出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-a,b 各Ⅰ-2-E	
11	5/31	1. 抜去歯でスケーリング、ルートプレーニング手技を実施できる。 2. ファントームに装着した顎模型でスケーリング、ルートプレーニング手技を実施できる。 3. ファントームに装着した顎模型で歯周ポケット搔爬の手技を実施できる。	B P70～85。顎模型と歯周外科器具セットを使用し、スケーリング、ルートプレーニング、歯周ポケット搔爬の手技を行う。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-d 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A		
12	5/31			出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-③ 必3-J-d 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A		
13	6/7	1. 咬合調整と暫間固定について説明できる。 2. ファントームに装着した顎模型上で咬合調整を実施できる。 3. ファントームに装着した顎模型上で暫間固定を実施できる。	B P86～95。診査所見をもとに、顎模型を使用し、咬合治療(咬合調整、暫間固定)を行う。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-③ 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A,E		
14	6/7			出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-③ 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A,E		
15	6/14	ファントームに装着した顎模型でプロビジョナル固定を実施できる。	B P96～107。顎模型を使用し、プロビジョナル固定を行う。	出口真二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A,E		

授業計画〈実習〉						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	6/14	期(歯周基本)治療(初)	ファントームに装着した顎模型でプロビジョナル固定を実施できる。	B P96~107。顎模型を使用し、プロビジョナル固定を行う。	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-④ 各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A,E
17	6/21	歯周外科処置	1. 歯周基本治療後の再評価で歯周外科処置の適応を診断できる。 2. ファントームに装着した顎模型で歯肉剥離掻爬術と歯肉切除術を実施できる。	B P114~146。顎模型と歯周外科器具セットを使用し、歯肉剥離掻爬術と歯肉切除術を行う。	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-④
18	6/21		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員		各Ⅲ-(Ⅲ)-4-B	
19	6/28		1. プタの顎骨を用いて歯肉剥離掻爬術を実施できる。 2. プタの顎骨を用いて歯肉切除術を実施できる。		B P114~146。プタの下顎骨と歯周外科器具セットを使用し、歯肉剥離掻爬術と歯肉切除術を行う。	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員
20	6/28	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員	各Ⅲ-(Ⅲ)-4-B			
21	6/28	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員				
22	7/5	メンテナンス・SPT	1. 再評価時の診査の重要性を説明できる。 2. メンテナンスについて討議できる。 3. SPTについて討議できる。 4. 歯周外科器具のシャープニングを実施できる。	B P129~134。メンテナンスプログラムの重要性を理解するために、小集団でグループディスカッションを行う。基礎実習で使用した器具のシャープニングを行う。	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-②、③
23	7/5		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員		各Ⅲ-(Ⅲ)-4-F,G,H	
24	7/12	P B L	1. 歯周病患者の検査データを基に原因の抽出ができる。 2. 治療方針の立案ができる。 3. グループディスカッションに積極的に参加できる。	歯周病患者の検査データを用い、小集団でグループディスカッションを中心に診療計画を立てる。	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員	F-3-3)-(3)-②
25	7/12		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員			
26	7/12		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員		各Ⅲ-(Ⅲ)-2-A~H	
27	7/12		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員			
28	7/19	ふり返り総合学習	基礎実習内容の理解度を確認する。	配布資料に対し、基礎実習試験・補講を行う。	出口眞二 歯周病学分野 教室員全員	
29	7/19		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員			
30	7/19		出口眞二 歯周病学分野 教室員全員			